

事務事業名	三遠南信及び中京圏との交流推進事業				会計	一般会計				
H27担当課等名	企画課		H27係等名	大学・三遠南信連携係		事業種別	政策	開始	終了	
基本計画上の位置づけ	政策	8	山・里・街の魅力を高め、交流と連携によるグローバルなまちづくり							
	施策	82	三遠南信・中京圏の連携推進							
目的	対象(誰・何を)	市民				対象指標	指標名及び単位		26年度数値	
	意図(どういう状態にするか)	三遠南信・中京圏との交流・連携を深める。					飯田市の人口(H22.9.30推計人口)		102446	
	向上させたい上位施策の成果指標	三遠南信・中京圏との都市間交流に参加している市民の割合								
目標	種別	指標名及び単位			26年度計画	26年度実績	27年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)	
	成果指標	三遠南信・中京圏との交流に参加している市民の割合			14	9.1	14	15		
	成果指標	三遠南信・中京圏との連携や交流が重要だと思う市民の割合			84	72.2	84	85		
定性目標	三遠南信地域を中心にして、中京圏や全国の地域との交流を進め、行政、経済、住民活動等様々な分野の交流連携を一層深める。これにより、自立性の高い広域圏を実現し、県境を越えた地域づくりのモデルとして重要な役割を果たしていく。									
事業概要	<p>○歴史的、文化的、経済的につながりの深い遠州、東三河地域や中京圏に軸足を置き、人・物・情報の交流を推進する。                  ＊南信州地域が将来にわたり持続し発展していくためには、三遠南信及び中京圏との積極的な交流活動や具体的な連携事業を進めることが重要。三遠南信及び中京圏との結びつきを強めていくとともに、新しく設立した住民団体連携組織を中心として市民レベルでの交流・連携の促進や支援を図る。                  ○三遠南信地域の一体的な振興発展を目的に、平成19年度末に「三遠南信地域連携ビジョン推進」を策定。                  ○平成20年度に三遠南信の地域住民、大学、経済界、行政の代表により組織する推進組織(SENA)を立ち上げ、ビジョン推進及び進行管理にあたる。                  ○平成26年7月にSENAは新体制に移行し、構成団体がさらに主体性をもって事業を推進することで、これまでの取り組みを一層前進させ、三遠南信地域の一体的な発展を目指す。また三遠南信地域連携ビジョン推進事業を推進するため3つの重点プロジェクト推進事業部会を立ち上げた。</p>									
事業内容					名称		活動指標			
26年度事業内容	1 三遠南信地域連携ビジョン推進のため、SENAを構成する浜松市、豊橋市をはじめとした行政、経済団体等と連携し、新・連携組織の検討(サミット開催の支援・参加、新・連携組織の検討会議等への参加)				1 会議出席回数		1 9回			
	2 市民への啓発活動【情報収集・情報提供等】 遠州、東三河、中京圏の交流・連携に関する情報収集と南信州に関する関係部署への情報提供(SENA、長野県名古屋事務所等)				2 情報収集及び情報提供		2 15回			
3 市民交流活動への支援 ・三遠南信住民ネットワーク協議会へのオブザーバ参加(情報交換等) ・南信州交流の輪への支援(会議運営や情報交換等) ※飯田市の役割(立位置) →三遠南信住民ネットワーク協議会:オブザーバ、南信州交流の輪:事務局				3 会議等出席回数		3 15回				
事業コスト		25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足				
事業費計(千円)①		80	186	168	0					
国庫支出金										
県支出金										
起債										
その他										
一般財源		80	186	168						
人件費計(千円)②		5,364		3,934						
正規職員所要時間		1,500		1,100						
臨時職員所要時間										
総事業費①+②		5,444	186	4,102	0					
事業内容・目標達成状況の振り返り	三遠南信サミットの開催、三遠南信地域の物産販売や三遠南信ロコミ情報などの情報発信により地域間の交流・連携の強化が図れた。また、新体制のSENAに移行し、連携の強化がなされ、さらなる連携体制への研究の素地が整った。中京圏については、岐阜市をはじめとした災害時相互応援協定を締結し、都市間交流に向けた取り組みを行っている。									
改革改善の考え方	①問題点	南信州地域が、持続可能な地域として将来にわたり発展していくためには、三遠南信地域連携ビジョンに掲げる事業の推進や、中京圏との具体的な連携事業の推進など、更なる交流と連携が必要。								
	②改革提案	三遠南信地域連携ビジョンの更なる推進に向けた体制や機能強化、関係機関との連携による中京圏への情報発信、情報収集、交流の機会創出などの取組を一層進める。								